

編集後記

この『聖泉論叢』は、1992年4月に「聖隷学園聖泉短期大学」が聖隷学園から聖ペトロ学園へ法人移管されて「聖泉短期大学」と改称されたのに伴い、『聖隷学園聖泉短期大学人文・社会科学論集』をも改称し、創刊号として発行したものである。同様の経緯で、発行者も、「聖泉人文・社会学会」から「聖泉短期大学学会」に名称変更された。

本号は、1992年度内に発行されるべきところ、諸般の事情で発行が大幅に遅れたため、編集に当たっては、聖泉短期大学学会の下部組織である92年度と93年度の聖泉論叢編集委員会がかかわっている。昨年度の委員会は、聖泉短期大学学会長本多正昭ほか、編集委員の村田篤美、岡田弥生、以上三名によって構成されていた。

なお、われわれは、論文掲載に当たって可能な限りレフェリー制度を導入してきた。今回、各領域の専門家のレフェリーによる審査結果をもとに聖泉短期大学学会聖泉論叢編集委員会が掲載を承認したものは、次の通りである。

レオティの勘定理論の構造 (村田篤美稿)

『エドモントンの魔女』、『ヴィネガー・トム』、
『るつぼ』における「魔女狩り」

——差別と抑圧のメカニズム——

(今西薫稿)

インプット仮説と規則 (岡良和稿)